



タバコが治療の邪魔をする？！

歯科の天敵、それはタバコです！

タバコが体に悪い事は、皆様ご存知ですよ。でもタバコが歯の病気を悪化させ、しかも治療の成果にまで悪影響を及ぼすってご存知でしたか？
根気よく歯科医院に通ってくださる患者さんにしっかりとした治療をしても思うような成果が上がらないなんて・・・
タバコによる被害は、歯科にとってもとても切実で、大きな問題なのです。

歯科医院がなぜ禁煙支援？？

治療の為に歯科医院を受診した時、あるいはメンテナンスに通っているとき、歯科医師から禁煙を勧められたことはありませんか？お口の医療を担う歯科のプロたちが、全身の健康を蝕む「タバコ」の問題に、なぜかくも熱心なのでしょう？

もちろんお口の健康は、ひいては全身の健康のためにあるのですから、歯科のプロが患者さんのお口だけでなく、体のことを心配してもなんの不思議もないのです。

タバコがお口に及ぼす影響とは？

まず、歯の表面に着くヤニが原因でプラークが溜まりやすくなります。どんなに頑張って磨いても一度着いてしまったヤニはブラッシングではとれません！
次にタバコに含まれるニコチンがかなりの問題物質なのです。依存作用を起こすことはよく言われていますが、それだけではなく歯肉の正常な免疫機能を妨げます！
また骨のカルシウム成分が失われやすくなり骨がもろくなる傾向にあるといわれています。
つまりタバコを吸われている方は、吸ってない方に比べて治療の回数が増え期間が長くなりやすいです。

依存症から自由になろう！

タバコの煙の入り口であるお口は、タバコによる健康被害を唯一、目で見て確認出来る器官です。肺の中がいくら真っ黒になっていても見ることは出来ませんが、お口の中なら見る事ができます。こびりついたヤニで真っ黒な歯をしているなら、歯周病や口腔ガンの大きなリスクを抱えていること、歯科治療が不利なことは手に取るようにわかります。

現在日本人の死因のトップはガンです。タバコがガンの原因になることは有名な話です。

この機会にもう一度禁煙を前向きに考えてみてはいかがでしょうか？

